

登米市歴史博物館企画展

千客万来！ 引札の世界

令和7年3月8日(土)～6月1日(日)

西京深廣告

入館無料

参加費
無料

展示解説

午前11時～午前11時30分

3月8日(土)・20日(木・祝)・30日(日)
[令和7年] 4月13日(日)・26日(土)・29日(火・祝)
5月5日(月・祝)・10日(土)・6月1日(日)

登米市歴史博物館

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字内町63-20

TEL: 0220-21-5411 Email: rekishi-haku@city.tome.miyagi.jp

博物館HP



千客万来! ~引札の世界~

「引札」は、商家が店や商品の宣伝のために、店名と扱う品名、そこに関連する絵柄などを印刷し、客に配布した広告印刷物です。江戸時代から制作され、明治時代以降には、売出、開店、中元、歳暮の時期に配布され、商家と顧客を結ぶ大切な広告媒体でした。今回の企画展では、登米市及び近隣市町村の商家が商売繁盛を願い、様々な工夫を凝らした引札を紹介します。



母子と軍隊遊びの子どもたち(髓甲屋商店)
戦時中:気仙沼市教育委員会蔵



揆抄をする福助(久道七郎平)明治29年(1896):個人蔵



和歌を詠む女性(佐々良商店)近代:個人蔵



女性と恵比寿の置物(越後屋商店)
近代:大崎市松山ふるさと歴史館蔵



女性と醤油瓶(山田醤油店)近代:個人蔵



女性と体に良い食べ物(山田醤油店)近代:個人蔵



昭和五年庚午略歴(カドチヨ一商店)
昭和4年(1929):個人蔵

(チラシ表右上から下)
布袋と大黒天(久光商店) 大崎市松山ふるさと歴史館蔵、大黒天とこどもたち(松本京昇堂) 気仙沼市教育委員会蔵、女性と扇子(浅野貞吉) 個人蔵、女性二人と十六の心得(山田醤油店) 個人蔵、神武天皇(早坂与兵衛) 個人蔵、少女と醤油樽を運ぶ福助(山田醤油店) 個人蔵(いずれも部分)